



木の家だいきの会 通信

2014年12月発行

特定非営利活動法人 木の家だいきの会
E:Mail: office@kinoie.org
URL: http://www.kinoie.org
facebook:
http://www.facebook.com/NPO.KinoieDaisuki

■所沢事務所
〒359-1116 埼玉県所沢市東町 11-1-1704
TEL 04-2926-6045 / FAX 04-2926-5743
■東京事務所
〒160-0011 東京都新宿区若葉 1-6-1-102
TEL 03-5366-4772 / FAX 03-5366-4702

木の家だいきの会 通信では、家づくりに関する情報や、会の活動、事例などをご紹介します。

「合板を使わない」というこだわり

NPO 木の家だいきの会 代表理事 鈴木進



2013年3月11日の東日本を襲った巨大地震と大津波によって合板工場が大打撃を受け、日本全国の全ての住宅建設が影響を受けることになりました。「合板を使わない住宅は皆無である」と言ってもよいほど、合板は日本の住宅建設に必要不可欠なものになっています。こうしたなか、木の家だいきの会では、かねがね“合板を使わない”工法を探ってきました。その理由はいくつかあります。数年前に挑戦した時は、お子さんのアトピーなどを気にする建て主向けに、「化学物質である接着剤を排除して自然素材のみで家をつくる」という目的が主たるものでした。また、長寿命の住宅が社会的な課題になるなかで、70度以上にも達する屋根の厳しい温熱環境や床下の湿気に合板の接着剤が果たして長期間耐えうるものなのだろうか、という懸念も工務店の声として上がっていました。



昨年度、木や漆喰の良さを最大限に活かした「健康な住宅」づくりを目指す「グリーンエア工法」の開発にあらためて着手しました。この工法の開発過程で、断熱性を高めると結露を起こす危険が高まること、特に、合板の使用が、内部結露やカビの発生と密接に関係する事が分かってきました。合板は湿気を通しにくい性質が強いため、壁や床などの内部に湿気が入り込んだとき、合板に達したところで結露する危険があるのです。

現在、東京都小平市にある職業能力開発総合大学の先生方の指導を受けながら工務店と設計事務所からなる開発チームを立ち上げ、二階の床と屋根の斜め張り工法の開発に取り組んでいます。つい先日、予備試験も終了し本試験に入りましたが、地域にごく普通に流通する安価な材料を使用して、この地域の大工さんがごく普通に使っているオープンな施工技術による現場施工型の工法とすることができました。コスト競争力の高い実用的な工法になる目処もつき、皆さんにお披露目できるのも間近かと思えます。ご期待下さい。



コラム：設計者の目

今回は、設計者・大沢宏さん（コウ設計工房）のコラムです。

「よその現場検査業務で感じたこと」



コウ設計工房 大沢宏

当社では、木造の住宅設計が主な業務ではありますが、その傍ら、検査業務も行っています。何の検査かと云いますと、瑕疵保険会社の検査員としての瑕疵保証やフラット35などの現場検査などで、仕事が暇になったときの収入源ともなるのですが、本業が忙しくなるとちょっと辛いのが現実です。その現場検査などで感じたことを書いてみます・・

まず、検査に向う案件の95%くらいは、中堅ビルダーや工務店で、大手ハウスメーカーは対象外(大手は供託金を預けることで第三者検査は受けなくて良い)であり、実際の設計・監理者は存在していません。

ほぼ、自社設計又は下請け事務所が図面を描いていると思われ、それも自動で作図するCADを使用してる模様で、図とマークが重なって図面が見づらくてそのままです。

外観デザインも、コストや作業性重視でマニュアル化されているので、どの現場も同じ・・

現場では、間柱や筋違いまで工場プレカットされ、できるだけ現場作業を少なくしている状況を大工さんと話をしたことがあります。「もう、俺たちは大工じゃなくて組立屋だな・・なんでもかんでも準備されてくるよ。」と、つまらなそうに云っていました。

でも、良いところもあります。現場作業もマニュアル化されている分、断熱材の施工などはしっかりと施され、品質管理の担当者検査や制震ダンパーを標準装備している建物もあつたりと、一昔前の建売住宅とは比べ物にならないくらいです。

しかし、中には、今時こんなことでもいいの?・・と首を傾げたくなる業者も存在していますので、購入してみて「当り、はずれ」は、やはり有りますね・・

近年は、建物を永く持たせよう・・中古住宅にも価値を持たせよう・・という、政府の動きもありますが、「組立屋」さんでは、増改築やリフォームも困難になり、やはりスクラップ&ビルドから抜け出せないのではないかと懸念します。

だから、設計者も大工も、伝統と現代の技術を融合させ、新しいデザインや性能を発展させるべく、常にスキルアップをしていかなければなりません。

そして、さりげなく「木の家で気持ちよく暮らしましょうよ・・」と建て主さんに「木の家」をお薦めします・・あくまでも、さりげなく・・



見学会などのお知らせ

- 1月17日(土) 11:00~12:30 所沢の通り土間のある木の家 構造・断熱見学会(設計:アトリエ ヌック)
- 1月19日(月)~24日(土) 建築展「家づくりのための土地の見方」(木の家だいきの会&澤野建築研究所)
- 1月24日(土) 住まいの無料相談会 @新宿・初台